



「余市ジンギスカン桜まつり」開催レポート

4月26日（土）から5月6日（火・祝）にかけて円山公園で開催された「余市ジンギスカン桜まつり」は大きな賑わいを見せ、無事終了しました。

手ぶらで気軽にジンギスカンを外で楽しめるということもあり、札幌市内から来た方や複合遊具で遊ぶ家族連れなど、たくさんの来訪者で賑わっていました。

今年は天候も良く、桜の開花時期もぴったりだったため、ジンギスカンと桜の両方を楽しむ来場者の姿が見られました。

ジンギスカンブースを利用した方からは「桜を見ながらおいしいジンギスカンが食べられて最高！」「去年来てよかったので、今年もまた来ました！」など、喜びの声が多く聞かれ、イベント期間中は400人以上の方に楽しんでいただくことができました。



問合せ 政策推進課 政策調整係 ☎21-2117



高校生がスイーツ開発で地域活性化に挑戦！

4月23日（水）、札幌西高校で生徒が自分の興味や関心について1年間探究する「探究学習」の最終発表会が行われ、3年生の大崎留奈さん（余市町出身）と夏目実侑さん（札幌市出身）が発表を行いました。

食べることが大好きで、地域活性化に関心があった2人は、「地域活性化のためのスイーツ創作プロジェクト」をテーマに設定し、スイーツを通じて余市町の魅力を伝え、町の認知度を上げることを目指しました。

探究の過程で余市町役場に取材を行い、町出身の方が営むジェラート店を紹介されました。そこでスイーツ開発について相談を重ね、余市産のヘーゼルナッツを使ったジェラートを完成させました。

完成したジェラートは、3月に札幌で開催されたイベントで2日間販売され、用意した200個は完売。購入者には、大崎さんが手作りしたショップカードも配られました。

大崎さんは「余市町でヘーゼルナッツが作られていることや、自分たちの活動を紹介することができた。少ない人数でも、余市町に興味を持ってもらい、知名度を上げることができた」と成果を語り、夏目さんは「世の中の見え方が変わった。SNSで地域おこしの情報を目にしたとき、今までは観光客側の視点で見ていたが、今では観光客を呼ぶ側の視点で見るようになった」と自身の意識の変化を話していました。



▲ 約1,000人を前に発表



▲ 大崎さん（左）と夏目さん（右）

問合せ 政策推進課 広報統計係 ☎21-2117



押忍！極真空手で余市から目指せ日本一！！

極真会館野中道場余市道場では、直接打撃による空手ルールで、20人以上の生徒が稽古に励んでいます。

中学1年生の本間愛那選手（ほんま あいな）と高校3年生の秋田谷美雪選手（あきたや みゆき）は、幼少より稽古に励み切磋琢磨した結果、昨年開催された「第7回北海道極真カップ空手道選手権大会」で優秀な成績を収めたことから、6月28日（土）、29日（日）に大阪府立体育館で開催される全国大会「2025グランドチャンピオン決定戦」の組手の部、中学生女子並びに高校生女子の部に出場することになりました。

2人とも日本一を目指して、今日も厳しい稽古に励んでいます。



▲ 本間選手（左）と秋田谷選手（右）

問合せ 政策推進課 広報統計係 ☎21-2117